

## 最終処分量削減のための取組み

### 《廃プラスチック》

- ・再生プラスチックフィルム原料として利用
- ・分別を徹底し有価物として売却、固形化燃料、セメント原料としてリサイクル
- ・再生化率向上のため、処分業者へサンプル提供等の積極的協力を実施

### 《汚泥》

- ・セメント原料、肥料化、路盤材としてリサイクル（脱水汚泥も含む）

### 《動植物性粕》

- ・茶粕、コーヒー粕の減容化・堆肥化
- ・コーヒー粕をバイオマス燃料として発電所等に提供。これにより同発電所の化石燃料使用量が削減され、CO2 排出量の削減に寄与
- ・コーヒー粕・茶粕・排水処理汚泥を嫌気発酵させ、エネルギー源に変換することにより、廃棄物の排出容量を削減
- ・コーヒー抽出残渣のバイオマスボイラーでの利用および堆肥化・肥料化
- ・動植物性残渣は酪農場の牛糞堆肥水分調整、発酵調整剤として利用

### 《その他》

- ・廃液 → 肥料化、飼料化
- ・紙類・金属類 → 分別を徹底し有価物として売却、サーマルリサイクル
- ・ガラス類 → 一部を有価物として売却
- ・活性炭・乾燥剤 → サーマルリサイクルで熱を有効利用し、灰は路盤材として活用
- ・PET 容器・プラスチックキャップ・ボトル缶・アルミキャップ・段ボール → リサイクル業者を通じて再資源化
- ・製品在庫・不良在庫の極小化および商品の需給管理の徹底による返品削減
- ・安定的なライン稼働による不良品の削減
- ・生産余剰物の削減および分別による資源化の徹底
- ・廃棄物リサイクルシステムが完備されている取引先を選別し、最終処分量削減を徹底

## 再資源化率向上のための取組み

- ・搾汁製造工程で発生する余剰物の低減及び有効活用技術の開発
- ・バイオマスに位置づけられるコーヒー粕・茶粕の有効活用策調査の継続
- ・有価販売先の開拓と再資源化可能な分別の実施
- ・再生利用業者への委託処理を推進
- ・高付加価値の再資源化ルート開拓
- ・副包装資材のリサイクルの徹底
- ・各事業所に環境管理者を置き、環境関連の業務全般を環境管理者の下、組織的に遂行
- ・PET 容器を自社で成型することで、容器の運搬時に使用する包材を削減